

# 蒼穹NEWS No.2

## 関西インカレ総括号

平成 14 年 5 月 25 日発行



10種競技 100m (手前から花谷、宮田)

### ~~~~ 目 次 ~~~~

- 主将挨拶
- 得点表
- 関西インカレの詳細
- 関西インカレの結果
- 個人戦・記録会の結果

## 主将挨拶

去る5月18日、日吉ダムでのハーフマラソンから始まった5日間の関西インカレは京都大学4位、2部残留という残念な結果で終りを告げました。戦前の予想でも4位となっておりましたが我々の勝利への執念は並大抵のものではなく部員一丸となった力で必ず逆転出来る事を信じて今大会に臨みました。初日の予想外の失点もあって一時は5位まで落ちてしまいましたが、翌日以降、降り頻る雨にも関わらず選手達は一度も諦めず力を尽くし3日目を終了した時点で3位以下に10点以上の差をつけ2位にまで上りました。しかし、最終日、地力で勝る神戸、大教の猛追に会い敢え無く1部昇格の夢は絶たれてしまいました。我々のチームとしての想い、勝利に対する執念は決して他大学に劣るものではありませんでしたが、戦力面で考えるとどうしても一人に頼ってしまう種目が多く2番手、3番手の選手の差が戦力の差として露呈したといえるでしょう。この反省を生かし残り2ヶ月余りとなりましたが七大戦までに戦力の底上げを図り、辛酸を舐め続けている京大陸上部に今度こそ勝利がもたらされるように部員一同更なる練習に励みます。

最後に平日の更に悪天候の中、応援に駆けつけて下さった蒼穹会の皆様に部員を代表して感謝の意を表すと共に、今後とも、先輩方の熱い御支援を賜れますよう、どうか宜しくお願いします。

**京都大学陸上競技部主将**

**米谷 健司**



3000mSC で2連覇を達成した佐藤章徳(中央)

## 得点表

### 男子2部総合

1位	大阪経済大学	109点
2位	神戸大学	100点
3位	大阪教育大学	97点
4位	京都大学	82点
5位	大阪大学	67点
6位	南大阪大学	43点
7位	奈良教育大学	34点
8位	桃山学院大学	30点
9位	神戸商科大学	29点
10位	大阪市立大学	27点

(龍谷大学・甲南大学が、1部より2部へ降格)

### 男子2部トラックの部

1位	大阪教育大学	76点
2位	大阪経済大学	67点
3位	神戸大学	60点
4位	京都大学	56点

### 男子2部フィールドの部

1位	大阪大学	47点
2位	大阪経済大学	42点
3位	神戸大学	40点
5位	京都大学	16点

### 男子2部混成の部

1位	大阪教育大学	12点
2位	京都大学	10点
3位	神戸学院大学	8点

### 女子総合

1位	大阪体育大学	115点
2位	立命館大学	109点
3位	武庫川女子大学	83点

## 関西インカレの詳細

- 第1日目(4月21日):日吉ダム周辺

### ハーフマラソン決勝

西村 好康	3位	1.09.16	PB
背戸 和寿	22位	1.15.44	
西村 重行	28位	1.21.48	

- 第2日目(5月14日):西京極

### 走高跳決勝

渡邊 浩一	記録なし	1m90 × × ×
田中 智弘	棄権	

今大会は1.90からスタート。1.90は最近の渡邊の調子からすると楽に跳べるような記録ではないが、跳べば即得点につながるだけに、かなり期待された種目であった。一本目の跳躍では惜しいところを見せたがわずかにバーに触れてしまった。三本目は助走が合わずに踏み切りで高さが出なかった。三本目は非常に惜しい跳躍だったが、バーが落ちてしまう。その結果、渡邊は記録を残すことが出来なかった。田中は風邪のため棄権した。(福山)

### 三段跳決勝

栗村 聡資	9位	13m96(-0.1)	
		13m48(+0.9) ×	13m96(-0.1)
和田 浩	14位	13m26(+1.0)	
		13m26(+1.0) P ×	
福山 大典	記録なし		× × ×

前回の京カレで優勝し波に乗る和田であったが、一度目の試技で踵を負傷してしまい、二度目の試技はパス、踵の痛みをこらえながら望んだ三度目の試技も失敗に終わった。記録は一度目の13m26cmと不本意な結果となり、まさかの予選敗退。出場者の中では安定感抜群の栗村であったが、助走に練習の時のようなキレが見えなかった。一度目の試技は膝がついてしまい記録が伸びず、二度目はファール、三度目は踏み切りが合わず踏み切り板の30cm手前からのジャンプとなってしまった。記録は13m96cmと去年より1cmUPという結果に終わり、惜しくも予選敗退となってしまった。上位にランキングされ期待の大きかった福山であったが、練習から踏み切りが合わなかったようだ。本番の試技も三度のファールで予選敗退に終わってしまった。三度目の試技はなかなかの跳躍ただだけに悔やまれる結果だった。(田中智)

### 4×100mR予選

(3組1着+5)

〔雪本明宏 - 広瀬亮平 - 藤井章輔 - 北垣卓〕

1組2着通過 41.79

関カレ最初のトラック競技である4×100mR。京大は1組3レーンに登場。バトンパスは全体的にスムーズだった。1走は雪本。スタートも決まり、じりじりと他校との差をつめていく。2走は広瀬。期待どおりの走り、差を保ちながら3走の藤井章輔へ。コーナーリングに定評のある藤井、無難な走り、4走の北垣につなぐ。後方の選手につめられはするが、そのまま2着でゴール。4人も期待どおりの走りだったように思われる。(山岸)

### 円盤投決勝

河村 和彦 9位 29m02

26m72 29m02 28m05

上位陣がまずまずの投げ投げをしていき、ベスト8付近のメンバーが、ファールや失投を重ねていくなかで行われてきた円盤投げではあるが、河村も体が硬く学校げの練習のような30mを軽く超えるような投げができない。3投目が終了した時点で8位につけて、大阪教育の栗山の投げを待つが、栗山に32m76を投げられ、9位に終わる。ベストを投げて、勝てそうになかったが、ベストを出して欲しかった。残念な試合だった。(八木)

### 女子 1500m予選

(2組4着+4)

田端 亜衣子 1組16位 5.07.51 PB

関カレ二日目、晴天のもとで、女子1500mが行われた。スタートしてすぐに田端は集団から離された。800mを2分41秒で通過。なかなか前との距離が縮まらない。しかし1000mから徐々に前を走る選手のスピードが落ちてきて、前との距離が縮まる。ここで、ラスト一周となり、田端はスピードを上げた。1200mあたりで一人ぬかし、ラスト200mからは、フォームも切り替えラストスパート。見事自己ベストでゴールした。(中村奈)

### 1500m予選

(2組4着+4)

大畑 合	1組9着	4.10.93
佐藤 章徳	2組3着通過	4.09.02
西村 好康	2組4着通過	4.09.04

1組には大畑が出場。序盤からスローペースとなる。大畑は中断あたりにつけて進むが、800mをすぎたころ、ペースを上げ、先頭に出る。ここから必死に逃げるが、1200m過ぎたあたりで後続にのまれてしまう。抵抗するも9位でゴール。惜しくも予選落ちとなった。

2組には佐藤と西村が出場。スローペースとなり、二人とも固まりとなった先頭集団の中ほどにつける。誰もペースをあげようとせず、位置取り争いをしながらラスト1周。ここで佐藤が先頭に抜け出すと、一気に全体もベ

ースアップ。そのままラストの直線勝負となり、佐藤を含む先頭3人に西村と武林(神大)の二人が後方から突っ込んで5人が固まりとなりゴール。きわどい差で佐藤が3位、西村が4位となり、決勝へと進んだ。(寺田智)

### 400m予選

(4組3着+4)

**根元 貴行 2組6着通過 51.52**

京大からは根元一人の出場。前半多少かたさが見え離されるが、後半はねばりを見せ、差を広げさせず6着でゴール。プラスで拾われ、準決勝進出を決める。(山岸)

### 100m予選

(6組3着+6)

**雪本 明宏 4組3着通過 11.15(+0.1)**

**広瀬 亮平 6組1着通過 10.88(-1.2)**

まず四組に雪本が出場。鋭いスタートからスムーズに加速して、一時はトップにたちそうな勢いだった。中盤から後半はややバテリキんだようだったが、よくねばり、三着でフィニッシュ。期待どおり準決勝に進出した。

六組には広瀬が出場。得意のスタートで一気に飛び出すと、最後まで他をよせつけず、だんとつのトップでフィニッシュ。普段は冷静な彼が、強い向かい風のなかでの好タイムにガッツポーズをみせた。明日以降の走りにかなり期待ができそうな内容だった。(藤井健)



女子1500m予選 田端亜依子

### 400m準決勝

(2組3着+2)

**根元 貴行 1組8着 51.88**

根元は8レーンでのレース。前半から果敢にとばすが、他の選手との差はなかなかひろがらない。いまいちスピードにのりきれずそのまま後半へ。ホームストレートではじりじりと離され、8着でゴール。今後の走りに期待したい。(山岸)

### 1500m決勝

**西村 好康 2位 3.56.84 PB**

**佐藤 章徳 9位 4.07.83**

予選を通過した佐藤と西村が出場。スタート直後から後藤(大教大)がハイペースで飛ばし、2位以下を大きく引き離す展開。佐藤は最後方から、西村は2位集団につけて様子を伺う。800mを過ぎて2位集団はばらけるが西村はしっかりついていく。佐藤もこのあたりで1人抜き去り、前を伺う。ラスト1周になってスピードアップするが、2位集団は最後の直線まで混戦状態。直線に入ったあたりで西村は前をふさがれてしまうが、巽(大教大)を弾き飛ばし、そのまま前田(大教大)を競り合いの末、抜きさって2位でゴール。詰め寄るも先頭には届かなかったが、強さを見せ付けての2位入賞であった。佐藤はラスト一周でさらに2人を捕らえるが、あと一人届かず、9位でゴール。惜しくも入賞できなかった。(寺田)

● 第3日目(5月15日):西京極

### 100m準決勝

(3組2着+2)

**雪本 明宏 1組4着 11.22(+0.9)**

**広瀬 亮平 3組2着通過 10.94(+0.1)**

雪本が1組2レーン、広瀬が3組4レーンでの出走。雪本は決勝進出には予選を上回る記録が必要だったが、後半力みが見られ11秒22で4着となり決勝進出はならなかった。広瀬はスタートで抜け出したが中間疾走で伸びずラストで1人かわされ10秒94で2着となった。足の状態が悪く、以降の競技に不安を残した。(平野)

### 女子 100mH予選

(3組2着+2)

**北川 佳奈 3組6着 17.74(+1.0) CB**

出場自体を直前まで迷っていた北川だが、力強いレースをしてくれた。練習不足もあって体の切れはそこまでよくなかったが、九台目までを3歩で行く。ぎりぎりなら十台目もいける可能性はあった。北川にとってこのレースは一つの自信になったようだ。今後のレースが楽しみである。(滝上)

### 110mH予選

(3組2着+2)

**佐藤真一郎 2組1着通過 15.12(+0.5) PB**

**若山 哲志 3組2着通過 15.34(+1.2)**

110H予選に出るのは佐藤と若山。2人とも決勝へ進むだけの実力は十分持っている。佐藤は2組目に出場。ピストルが鳴り、皆横一線にスタート。そして、5台目のハードルで佐藤が抜け出て、そのままリードを広げ1着でゴール。

若山は3組目に出場。こちらも皆横一線にスタート。4台目のハードルあたりで南大阪大の田岡と若山が抜け出てくる。そのまま2人がリードを守り2着でゴール。最後は決勝のために流すほど余裕の勝利であった。

2人とも調子よく走っており、決勝での活躍を予感させてくれた。(中村裕)



## 棒高跳決勝

水田 真人 4位 3m00

3m00 × 3m40 × × ×

棒高は水田一人の出場であった。自己ベストは3m40であるが、練習では3m60で惜しい跳躍を見せ、ベスト更新も期待された。3m00は一回目はアップライトの位置が合わず失敗したが、二回目に無難にクリアした。続く3m40はまたもアップライトの位置が合わず、三回とも失敗してしまった。残念ながらベスト更新はならなかったが、貴重な五点を獲得した。(鈴木)

## やり投決勝

堤 哲生 4位 58m36

56m59 58m36 53m43 57m54 56m32 58m01

松田 俊 14位 42m96

42m96 41m92 42m88

ベテランの堤、新人の松田が出場したやり投げは小雨がぱらつくなが行われた。堤は好調で一投目から56mを超えてくる。2投目には自己新に迫る58m36を投げた。3投目以降、60mを超す予感がしたが、結局2投目の記録が最高だった。しかし、4位入賞でチームを勢いづけた。松田は実践から遠ざかっていたため、自分の投げはできなかった。だが、今後につながる投げを魅せてくれた。(真鍋)

## 10000m決勝

西村 好康 1位 30.58.72 PB

山中 邦夫 13位 33.48.73

西村は前日の1500mを上回る快走をしてくれた。中盤までキロ3分07~08秒程度のペースで第一集団の3~5番手につけてレースを進める。その後も集団が少しずつばらけていく中、必死に先頭についていった。8900mあたりで大阪市立大の片山がペースをあげ、それについていった西村との一騎打ちと最後はなったが、ラスト200mで西村が片山を大きく引き離して一位でゴール。京大長距離エースの貫禄を見つけたレースだった。

山中は後方でレース展開を余儀なくされた。3000mあたりから落ちてきた選手を少しずつ抜いていくが、苦しい走りが続き、周回差による失格はまめがれたもののペースは上らず13位でフィニッシュ。期待されていた得点・自己記録の更新はならなかった。(渡辺敬)

## 女子 100m予選

(4組3着+4)

滝上 伸子 1組7着 14.45(+0.6) CB

周りは12秒台の記録を持つ強豪勢でスタートと同時に一瞬で差がついた。一人で追いかける形のレースとなったが、順調に加速し、中盤からは力みのないスムーズな走り、今まで長い間解消されなかった動きのぎこちなさがなくなり、ラストまで崩れずいい動きで走っていた。記録は大学ベストであった。(大本)

## 100m決勝

広瀬 亮平 7位 10.93(+1.9)

広瀬は6レーンでのスタート。状態は悪いながらもスタートは良く、2から3位あたりで70m辺りまで来たが本来の後半の強さを発揮できずに失速し10秒93で7着となった。予選の走りがすばらしかっただけに悔やまれる。(平野)

## 110mH決勝

佐藤真一郎 3位 15.12(+0.4)

若山 哲志 4位 15.15(+0.4) PB

予選2位の佐藤。同6位の若山。ともに優勝も狙える110H決勝。若山は2レーン、佐藤は5レーンのスタート。ピストルがなり4台目までは若山・佐藤、南大阪大の田村・田岡、大阪大の和久田がほぼ一列に並ぶ。そして6台目あたりで田村が抜け出、他の4人は並んだままゴール。目視では判断できないほどの接線だった。結局2位と0.06秒差で佐藤が3位。その0.03秒後に若山が4位で続いた。優勝とは行かなかったものの2人とも好記録を出し、この調子で七大戦もきっと活躍してくれるだろう。(中村裕)



110mH決勝 佐藤真一郎

## 4×400mR予選

(2組3着+2)

【根元貴行 - 雪本明宏 - 若山哲志 - 藤井章輔】

2組6着 3.21.71

一走は根本。2レーンからのスタートで一時は差をつけられたように見えたが後半追い上げ五位でバトンを二走雪本に渡す。雪本は前半他校に追い上げられ七位に後退。しかしその後必死に追いつき3走若山へ。若山は前半から積極的に飛ばしバックストレートで前二校をかわす。最後の直線でやや失速しバトンを六位でアンカーの藤井(章)にわたす。藤井は前半、バックストレートで一人をかわし前とぐんぐん差を詰める。第三コーナーで少しばてるも前と併走。直線は前半のつけもあり一人にかわされてしまい六着でゴール。残念ながら予選落ちとなってしまったが、ラップ(51.8-50.5-50.0-48.8)を見る限り、持てる力を出した結果と言えよう。(北垣)

## 10種競技(1日目)

### 宮田 征門 3193点

[11.42(+0.6) 6m68(+0.7) 8m01 1m80 52.78]

### 花谷 直人 3050点

[11.31(+0.6) 6m06(+0.5) 8m20 1m65 50.86]

一種目目は100m。二人ともなかなかの走りで100mを終える。花谷が宮田を一步リード。二種目目は走幅跳。宮田にとっては専門種目の幅跳び、自己記録には及ばないが安定した跳躍をする。花谷にとっては苦手な種目だったが、6mラインを辛うじてクリア。三種目目は砲丸投。宮田は不調で自分の力が発揮されず、低調な結果に終わる。花谷は自己ベスト更新はならなかったが、まずまずの出来だった。四種目目は走高跳。宮田は1.80まではミスが殆ど無く、この種目は2部で一位。花谷は1.50をパスして1.55からのスタート。1.65は一回でクリアするが1.70を跳べず。五種目目は400m。宮田は持ち前のスピードの割には記録が伸びなかった。花谷は得意のスプリント力を生かして好記録。(福山・真鍋)

## ● 第4日目(5月16日):西京極

### 砲丸投決勝

竹村 顕大朗 5位 11m96

八木 美典 13位 9m49

試合前々日に行った試合形式の練習で11m90を投げていてまずまずの仕上がりで臨んだ竹村であるが。試合当日の練習では硬く、11m前後しか投げられなかった。試合が始まり、1投目はファールしながらも11m後半を投げ、体の動きが良くなってきた。3投目で11m75を投げ、これでベスト8を確実にした竹村は、3投目が終わった時点で14m台1人、13m台1人、12m前半1人に次いで4位という位置につけていた。4投目以降、竹村はまずまずの投げをするが、神戸学院の船引に12mを超され、抜かれ、3位だった南大阪の地神が12m18を投げ、上位には追いつけそうになくなった。また6位以降の選手も調子が上がらないなか、6投目に11m96と記録を伸ばし、競技を終えた。試合は奈良教育の丹羽が大会新を6投目に出して、試合を締めくくった。

八木はまずまずの出来だったが、上位陣のレベルは高く、入賞には届かなかった。(八木)

### 女子 走幅跳決勝

北川 佳奈 記録なし × × ×

今までと同じ助走距離をとっていたのだが、今回は足が全く合わなかった。何度かマークを動かしてみたが公式練習・本番ともうまく合わせられず、また助走もスピードに乗り切れておらず、力を発揮できずに記録無しに終わった。(大本)

## 女子 200m予選 (5組2着+6)

滝上 伸子 5組7着 29.87(+0.7)

後半、フォームに崩れはなかったが、腕に少し力が入り、走りに伸びがなくてスピードがのらなかった。フォームの改善により、体全体の動きはスムーズだったので、あとはスピードにのれば今後伸びるだろう。(溜)

## 200m予選 (4組3着+4)

広瀬 亮平 2組5着 23.22(+0.9)

藤井 章輔 3組3着通過 22.76(+1.1)

まず2組目には広瀬が登場。前々日の1000予選で向かい風のなか1'08.8の自己タイをマークしつつも前日の100準決、決勝で足を痛めこの予選は足をかばった走りとなった。スタートはやや押さえ目でそのまま力み無くコーナーを通過。ストレートに入るがリレーを考慮したせいもありそのままのペースで左を確認しながらの5着フィニッシュ。3組には藤井(章)まずまずのスタートから良い加速である。そのままコーナーをぬけリラックスしたままストレートへ。150M付近で右を確認する余裕もあり3着でフィニッシュであった。(浜田)

## 女子 800m予選 (5組2着+6)

岩瀬 祥子 1組8着 2.39.62

周りに流されず、設定どおり自分のペースでスタートした。1周目は75秒で通過し、400m~600mをもちこたえて力強い走りを崩さなかった。その後のラストパートがあまり出ず、惜しくもベスト更新はならなかった。しかし冬の練習を着実にこなした彼女は、2分30秒台をコンスタントに出せるようになった。(山下)

## 800m予選 (5組2着+6)

寺田 智 4組3着通過 2.01.05

スタート後最後尾につき、300m過ぎまで落ち着いた走りでレースの流れをうかがうが、ホームストレートに入ったところから2番手に上がる。バックストレートに入ると、さらにスピードを上げて一気に先頭に出て、勝負に出る。最終コーナーを出るあたりまでは積極的な走りで先頭に位置し、良い流れでレースを進めることが出来たが、ホームストレートに出たところで二人にかわされそのまま3着でゴール。プラスで拾われ、準決勝に進出した。(近藤)

## 400mH予選 (3組2着+2)

若山 哲志 1組2着通過 54.87

尾崎 禎亮 3組5着 57.70 PB

一組には若山が出場。序盤から快調にとばし、150M付近で内の選手に抜かれたものの、よくふんばり、しれつな二着争いをせいし、なかなかの好タイムでフィニッシュ。昨日からの好調を継続しているようだった。三組には尾崎が出場。前半から無難な走りをみせるが、他の選手にじりじりひきはなされてしまい、五着でフィニ

ッシュ。かなり不満そうだったが、自己ベストがでたので、収穫も多かっただろう。(藤井健)

### 3000mSC タイムレース決勝

佐藤 章徳 1位 9.14.52 PB

山崎 圭介 7位 9.35.34 PB

2組によるタイムレースとなる3000mSC。大阪市大の片山をはじめとする強敵が参戦するなど昨年よりも全体のレベルが上がっており、激戦が予想された。1組目には4回生の山崎が登場した。スタート直後から先頭につけていた山崎は1000mを通過(3分06秒)すると一気に先頭に躍り出る。ここからは他を寄せつけない走りで行く。2000mを6分21秒で通過した後は最後までペースを落とすことなく走り切り、9分35秒の自己ベストで見事に1着のゴールを果たした。山崎は総合で7位となり、昨年(8位)に引き続いてこの種目での入賞を決めた。2組目にはこの種目の前年度の覇者、佐藤章徳が登場。佐藤はスタートから有力選手によって形成された先頭集団について行く。1000mの通過は1組目とほぼ同じ3分05秒。佐藤も先頭からほとんど差のない5、6番手で通過。このあたりから片山が集団を引っ張り始めた。2000mの手前で昨年2位の神大・松井が先頭に飛び出すと次第に集団がばらけ出す。佐藤は順位を上げ、2000mを2番手の6分17秒で通過。この直後で大産大・田坂がペースアップ。佐藤と片山がこれに続く。佐藤はラスト1周で先頭に立つとバックストレートで一気にスパート。片山の追撃を完全に封じ込め、自己ベストの9分14秒で2連覇を果たした。(大崎)

### 200m準決勝

(2組3着+2)

藤井 章輔 2組6着 22.63 (-0.6)

予選ふだんどおりの走りをみせてくれた藤井は準決は2レーンからのスタート。横一線のでだしからコーナーで徐々にばらけコーナー出口の時点で4、5番であった。直線に入る。順位が順位だけに加速時にも多少の力みが見られた。リレーをすぐ後に控えていたためもあったせいかスピードはあげずそのままのテンポで6着フィニッシュ。藤井はこの日200を2本、100を1本の計3本のレースの予定がありそれをふまえてのこの200準決は懸命な走りであったとおもわれる。(浜田)

### 800m準決勝

寺田 智 1組7着 1.59.34

予選と同じような位置取りでレースを進めるが、1周目をすぎても前に出ることが出来ず、600mまで我慢のレースが続いた。600mを過ぎてスパートをかけるが、最後まで届かず7着でゴールとなった。(近藤)

### 400mH決勝

若山 哲志 7位 57.48

七レーンに若山が出場。スタートから積極的にとばし、いいリズムだったが、四台目のハードルでバランスを崩

してしまい、大きく後退。しかし、そこから根性をみせて猛追するも、およばず七着でフィニッシュ。好調だっただけに非常に惜しい試合だった。(藤井健)

### 4×100mR決勝

〔雪本明宏 - 広瀬亮平 - 藤井章輔 - 北垣卓〕

6位 42.83

一走の雪本は、スタートから前半は無難な走りをみせるが、じりじりと他に離されてしまう。少し差をつけられて二走の広瀬へ。しかし広瀬もいつものキレがみられない。少しずつ差を縮めるも、抜き返すことができず三走の藤井へ。しかし藤井が早くとびだしてしまったために、痛恨のバトンミス。オーバーゾーンは免れたものの大きく後退してしまった。それでもあきらめずに力走をみせ、特にアンカーの北垣はいままでの不調が嘘のようなすばらしい走りをみせ猛追するも、およばず六位でゴール。なんとも惜しい試合だった。(藤井健)



4×100mR(3走 藤井章輔 4走 北垣卓)

### 10種競技(2日目)

宮田 征門 2188点

[16.50(+0.0) 26m08 記録なし 46m64 4.55.87]

花谷 直人 2075点

[17.96(+0.0) 19m09 3m00 34m01 4.56.67]

六種目目は110mH。宮田は順調な走りで16秒5。花谷は多少苦手意識がある種目だがまずまずの記録を出す。七種目目は円盤投。宮田は1,2回目の投擲では投射角が大きくなりすぎて20M強の記録にとどまったが、3投目で思い切って立ち投げに切り替えて、26.08Mの記録を残した。花谷は疲労のためか思ったような投擲が出来ずに19.06Mに終わった。八種目目は棒高跳。宮田は2.60でまさかの3失敗。記録なしに終わる。花谷は2.60を1発クリア。2.80を3回目にクリアすると3.00も1発クリア。惜しくも3.20は成功とならなかった。九種目目は槍投。宮田は一投目で自身の記録を10m更新する46mの大きな投擲を見せ、棒高跳びでの失敗を取り戻す。花谷は一投目で34.01の記録を残した。まずまずの出来である。十種目目は1500m。宮田は両足を痛めながらも自身初の4分台を記録。その直後に花谷が同じく4分台でゴール。(福山)



## 10種競技(総合)

宮田 征門 3位 5381点  
花谷 直人 5位 5125点 PB

- 第5日目(5月17日):西京極

## ハンマー投決勝

竹村 顕大朗 13位 17m49 PB  
17m49 × 17m16

河村 和彦 記録なし × × ×  
大雨が降る中、競技は行われた。多くの選手が水溜まりができたサークルに苦しんだ。特に河村はそれに苦しみ、自分の投げが全くできず、3回ともファールだった。自分の力が発揮されていたら、確実に入賞できたので、残念な結果だった。

竹村はハンマー投げ初心者のため、入賞とは程遠かったが、自分の投げは出来ていた。(真鍋)

## 走幅跳決勝

宮田 征門 7位 6m77(+0.8)  
6m77(+0.8) 6m43(+1.0) 6m67(+1.3) × P ×  
森 一 15位 6m25(+0.5)  
× × 6m25(+0.5)

走り幅跳びは雨のために非常に難しい試合になった。上位は神戸大学が占め、大量得点を獲得した。それに対し、京都大学は宮田の2点にとどまった。宮田は先日の十種競技の疲労がかなり残っていることが懸念されたが、しっかりと助走を合わせて一本目に6.77を記録する。残る二回の跳躍では記録を伸ばせずに6.77の記録を残す。この記録で7位に入賞し2点獲得。今大会では7mジャンプが期待されたが、残念ながらあと一步及ばなかった。

森は学連のために練習時間が十分に取れなかったが、夜間などに練習時間を捻出し、まずまずのコンディションで試合に臨むことが出来た。一本目では助走のキレが無かったが、二本目で修正して踏み切った。多少助走が不安定であったが三本目には粘土板ぎりぎりの跳躍を見せ、6.25の跳躍をした。(福山)

## 5000mタイムレース決勝

西村 好康 2位 14.58.46  
西村 重行 20位 15.48.18

雨が降り続き、肌寒い中5000m一組目がスタート。西村(重)は一番外から、公言どおり集団の先頭に立った。1000mを通過し、徐々に縦長となる集団の中ほどにつけたが、3000m手前で先頭集団のペースが一気に上がり、離されてしまった。何とか粘るも、前に追いつけず、組9番目のゴールとなった。

二組目には、ここまで一人で21点を獲得している、エース西村(好)が登場。予想外にスローな展開となり、二周目あたりまで先頭を進んだ。中盤まで集団は崩れなかったが、3000mを過ぎて吉山(大経大)が飛び出した。西村

(好)も追撃を開始し、先頭だけを狙って懸命に追いかけたが、捕まえられず2着でのゴールとなった。しかし、出場4種目全てで表彰台に乗った西村(好)の頑張りには、頭が下がる思いであった。(佐藤章)

西村(重) 3.02-3.03-3.08-3.21-3.14

西村(好) 3.01-3.02-3.02-2.58-2.55

## 10000mW オープン決勝

杉本 明洋 1位 41.45.63 NKR PB

杉本を含む3名の出場であったが、杉本の実力が飛び抜けており、焦点は杉本が自己の持つ関西学生記録を更新するかどうかであった。予想に反して3人が固まって進むが、600m過ぎで谷口(南大阪大)、2000m手前で尾崎(追手門大)が離れ、完全に杉本の独歩態勢に。4000mあたりまで4'10"/kmのいいペースで進むが、このあたりで雨が強くなり、それに伴って杉本のペースも落ちてきた。記録更新は厳しいかと思われたが、7000mを過ぎて徐々に持ち直し、最後の1000mはさらに加速。なんと4分ちょうどで乗り切り、関西学生新記録の誕生となった。(佐藤章)

4.12-4.10-4.09-4.09-4.15-4.16-4.15-4.11-4.08-4.00



関カレで合計28点獲得した西村好康

# 関西インカレの結果

## 男子2部

### 100m(+1.9)

1	田中 洋平	大阪教育大	10.56
2	橋本 孝憲	神戸商科大	10.73
3	岡田 理	神戸商科大	10.78

### 200m(+1.1)

1	田中 洋平	大阪教育大	21.61
2	岡田 理	神戸商科大	21.83
3	佐川 靖彰	和歌山大	22.02

### 400m

1	前川 文紀	神戸大	48.24
2	竹内 康博	大阪経済大	48.48
3	川上 祐介	神戸大	48.57

### 800m

1	後藤 良徳	大阪教育大	1:53.69
2	楠本 憲司	京都薬科大	1:54.53
3	武林 周一郎	神戸大	1:54.57

### 1500m

1	後藤 良徳	大阪教育大	3:55.23
2	西村 好康	京都大	3:56.84
3	前田 和良	大阪教育大	3:56.99

### 5000m

1	吉山 尚寿	大阪経済大	14:55.56
2	西村 好康	京都大	14:58.46
3	片山 直人	大阪市立大	15:00.41

### 10000m

1	西村 好康	京都大	30:58.72
2	片山 直人	大阪市立大	31:01.88
3	吉山 尚寿	大阪経済大	31:09.34

### ハーフマラソン

1	向井 章訓	大阪経済大	1:06:52
2	吉山 尚寿	大阪経済大	1:07:44
3	西村 好康	京都大	1:09:16

### 110mH(+0.4)

1	田村 元弘	南大阪大	14.74
2	涌田 知昭	大阪大	15.06
3	佐藤 真一郎	京都大	15.12

### 400mH

1	藤本 努	大阪教育大	53.65
2	奥井 誠樹	大阪教育大	53.86
3	河端 健太	滋賀大	54.24

### 3000mSC

1	佐藤 章徳	京都大	9:14.52
2	片山 直人	大阪市立大	9:17.77
3	田坂 暢浩	大阪産業大	9:19.30

### 4×100mR

1	神戸大	41.66
2	南大阪大	41.91
3	大阪経済大	42.49

### 4×400mR

1	神戸大	3:17.78
2	大阪教育大	3:19.67
3	大阪経済大	3:20.47

### 走高跳

1	真鍋 周平	大阪大	2m15
2	井奥 一樹	神戸大	2m10
3	中谷 暢一	帝塚山大	1m95

### 棒高跳

1	細川 尊史	大阪大	4m80
2	長友 靖恭	大阪工業大	4m30
3	池田 悠樹	奈良教育大	4m00

### 走幅跳

1	藤井 諭	神戸大	7m34(+1.1)
2	安積 高靖	大阪大	7m19(+1.1)
3	井奥 一樹	神戸大	7m16(+1.1)

### 三段跳

1	川幡 俊行	大阪経済大	15m48(-0.7)
2	王谷 英達	神戸大	14m89(+0.7)
3	大塩 宏晃	神戸大	14m52(-0.8)

### 砲丸投

1	丹羽 敦巳	奈良教育大	14m47
2	尾杉 友浩	大阪大	13m97
3	地神 翔一	南大阪大	12m68

### 円盤投

1	丹羽 敦巳	奈良教育大	41m13
2	藤井 友樹	大阪経済大	37m47
3	森本 裕之	大阪経済大	34m17

### ハンマー投

1	若林 晋一郎	大阪経済大	47m82
2	藤井 雅敏	桃山学院大	44m32
3	藏本 龍樹	滋賀大	44m13

### やり投

1	片山 智雄	流通科学大	66m00
2	西村 崇志	大阪経済大	59m97
3	永久保 太士	大阪大	59m15

### 10種競技

1	阿部 将之	神戸学院大	5823
2	山下 健太郎	大阪教育大	5687
3	宮田 征門	京都大	5381

### 10000mWOP

1	杉本 明洋	京都大	41:45.63
2	尾崎 敏之	追手門学大	44:49.71
3	谷口 文博	南大阪大	49:08.79

## 女子

### 100m(+1.6)

1	野木 香里	武庫川女大	11.99
2	古賀 みどり	人間科学大	12.12
3	田口 恵理	甲南大	12.32

### 200m(+1.1)

1	野木 香里	武庫川女大	24.94
2	林 希未子	関西大	25.10
3	加藤 史子	関西大	25.36

### 400m

1	中川 弥夏	龍谷大	55.47
2	杉本 知美	立命館大	56.14
3	津田 朝子	関西外語大	57.29

### 800m

1	澤田 佳恵	立命館大	2:13.82
2	中川 沙織	京都産業大	2:16.33
3	徳田 紀子	立命館大	2:16.76

### 1500m

1	山島 由香	京都産業大	4:28.80
2	丸毛 静香	立命館大	4:29.69
3	鈴木 亜弥子	大阪体育大	4:30.41

### 5000m

1	池田 恵美	立命館大	16:04.65
2	越智 純子	佛教大	16:24.19
3	堀岡 智子	大阪体育大	16:24.54

### 10000m

1	池田 恵美	立命館大	33:10.20
2	吉田 麻紗	京都産業大	34:52.41
3	伊藤 絵美	立命館大	34:53.98

### 100mH(+0.8)

1	古賀 みどり	人間科学大	14.04
2	片山 奈美	関西大	14.05
3	佐々木 沙織	龍谷大	14.05

### 400mH

1	石井 直美	大阪教育大	61.10
2	松重 絵美	立命館大	62.46
3	羽多野有紀子	天理大	63.08

### 4x100mR

1	武庫川女大	47.05
2	関西大	47.32
3	大阪教育大	47.80

### 4x400mR

1	関西大	3:51.08
2	立命館大	3:51.74
3	大阪教育大	3:54.46

### 走高跳

1	福山 茜	甲南大	1m65
2	武田 頌子	大阪教育大	1m65
3	土居 千草	大阪体育大	1m65

### 棒高跳OP

1	竹内 寛子	大阪体育大	3m40
2	森本 美樹	桃山学院大	3m30
3	岡崎 祐子	武庫川女大	3m10

### 走幅跳

1	和田 茜里	関西大	5m92(+1.9)
2	西條 理恵	大阪教育大	5m67(-0.3)
3	水野 果苗	立命館大	5m67(+1.8)

### 三段跳

1	和田 茜里	関西大	12m44(+0.8)
2	大谷内 庸子	関西外語大	11m79(+0.3)
3	立花 真理子	関西大	11m65(+0.5)

### 砲丸投

1	熊谷 江里加	大阪体育大	12m98
2	中坊 久美	大阪体育大	12m94
3	山木 彩	大阪体育大	12m35

### 円盤投

1	後藤 直美	京都教育大	44m58
2	宮田 理香	大阪体育大	41m40
3	池之端 美穂	大阪体育大	39m79

### ハンマー投

1	中山 有子	天理大	47m67
2	柴田 みどり	大阪体育大	41m68
3	榎並 優子	大阪体育大	40m06

### やり投

1	新川 晶子	大阪体育大	46m67
2	鈴木 陽子	大阪体育大	46m13
3	中野 麻美	武庫川女大	45m56

### 七種競技

1	金下 祐子	武庫川女大	4574
2	片崎 美樹	関西大	4172
3	森松 理枝	関西外語大	4140

### 5000mWOP

1	下浦 礼子	摂南大	25:27.49
2	杉本 智美	人間科学大	26:15.04
3	和木 利衣	関西外語大	29:35.95

# 個人戦・記録会の結果

(2002年5月4日~2002年5月11日および前回未掲載分)

## 第4回北和陸協記録会 (3/31 鴻ノ池)

100m		
花谷 直人	11.85	-2.7
	11.63	-2.4

## 第1回奈良市記録会 (4/28 鴻ノ池)

100m		
花谷 直人	11.49	-0.6
	11.32	+1.0

200m		
花谷 直人	24.44	+0.9
	22.97	-0.5

## 奈良県選手権 (5/4,5 鴻ノ池)

3000mSC		
大崎 友数	10.39.60	
十種競技		
花谷 直人	5068	PB
11.09(+1.5)[841]-5.85(+0.6)[554]-7.78[353]-		
1.70[544]-50.56[789]-17.78(+1.0)[545]-		
20.03[273]-2.70[286]-33.56[350]-5.04.70[533]		

## 第34回茨木市民陸上 (5/5 万博)

1500m		
佐藤 章徳	4.05.8	

## 第3回京都陸協記録会 (5/11 西京極)

100m		
北垣 卓	11.53	+0.7
400m		
藤井 健輔	52.66	CB
米谷 健司	53.85	

西村 広展	54.62	
藤森真一郎	55.25	
1500m		
磯島 弘	4.06.75	PB
大畑 合	?	
石田 康典	?	
5000m		
丸吉 繁一(蒼)	15.26.61	
西村 重行	16.07.86	
渡辺 敬宏	16.10.05	
小林 輝明	18.05.44	
やり投		
堤 哲生	55.25	
真鍋 文朗	28.28	

### 記号の見方

: 男子種目                      : 女子種目  
 予: 予選                      順位: 決勝の順位  
 : 記録会等の2次レース  
 夕決: タイムレースの決勝(順位不詳)  
 PB: 自己新記録  
 CB: 大学における自己新記録  
 : デビュー戦  
**蒼穹新**: 蒼穹新記録  
 : 蒼穹ランク  
 (記録を出した時点、20位まで)  
 (院): 学連登録の院生  
 (蒼): 蒼穹クラブ登録の部員



蒼穹ニュース 平成14年度 第2号  
平成14年5月25日 発行

発行所: 京都大学体育会陸上競技部  
 編集者: 岩瀬祥子・真鍋文朗・大崎友数・北垣卓・田中齊太郎(副務)  
 特別協力: 森一(学連員)・滝上伸子(体育会員)  
           佐藤章徳(記録係)・背戸和寿(HP係)  
 写真担当: 垣畑陽・菅原健志・村地優樹  
 ホームページ <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/>  
 メールアドレス [cqs02404@nifty.com](mailto:cqs02404@nifty.com) (副務・田中)